

六ヶ所村新庁舎建設

村民ワークショップ開催概要

六ヶ所村新庁舎建設に向けて、村民ワークショップを開催しました

このたび六ヶ所村では、新庁舎の建設に向けて村民の皆様からご意見を広く取り入れるため、ワークショップ（以下「WS」）を実施しました。今後は、WSにて出された皆様のご意見やアイデアを踏まえ、基本構想等の策定に向け新庁舎のあり方を検討していきます。

WSでは、「現庁舎の不便に感じる点とその解決・改善策」、「憩いの場となる、サードプレイスとしての庁舎」の2テーマについて、4人×3グループに分かれて自由に意見交換を行いました。

■ スケジュール(令和3年2月23日(火))

- 14:00- 開会・WS趣旨説明
- 14:20- 村民ワークショップ
(40分×2回)
- 15:40- まとめ
- 16:00- 閉会



各グループの検討結果

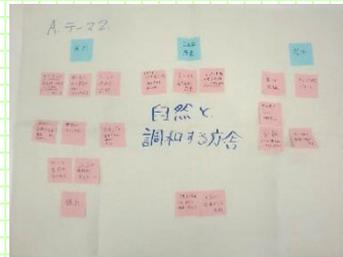
現庁舎の不便に感じる点とその解決・改善策

Aグループ



スペースやワンストップ窓口、窓口対応、開庁時間や分かりやすい案内等に関する問題点と解決策が挙げられた。

憩いの場となる、サードプレイスとしての庁舎



屋内と屋外の2つの視点より意見を整理し、理想の新庁舎の姿として「自然と調和する庁舎」というキーワードを掲げた。

Bグループ



プライバシー管理やバリアフリー、案内表示、手続き関連の問題点が挙げられた。また、急な階段や狭隘な通路などハード面に関する課題も挙げられた。



意見をまとめる中で最終的に「自分の子ども世代が使う前提」で、「老若男女問わず、誰でも来やすい庁舎」というキーワードを掲げた。

Cグループ



機能的な部分、(庁舎内の)雰囲気、建物の構造の3点に着目し、課題と解決策の整理を行った。



イベントの実施や体験機能の付加など、庁舎だけでなく周辺エリアで1日遊べるような施設があげられた。また六ヶ所村の特徴としてエネルギーに着目した。

まとめ: どのグループも工夫を凝らしながら整理することができ、各テーマについてグループでそれぞれ答えを出すことができました。これらを踏まえ、新庁舎の建設について検討を進めていきます。